



ふるさとを愛し、自分を大切に！ ひとを大切に!!



今日で1学期が終了しました。子どもたちは日常の学習や生活、様々な体験や経験を通して、自分でできることが増えたり、高度なことができるようになったり、それぞれの成長が感じられた1学期になったと思います。

夏休みを迎えた今、ある有名カー用品販売会社の創業者である鍵山秀三郎さんの「**三つの幸せ**」という話を紹介します。

三つの幸せ

一つ目は「**してもらおう**」幸せ。赤ちゃんがお母さんからお乳を飲ませてもらう。病気で寝込んでいる時に、家族に看病してもらう。誕生日にプレゼントをいただく。人は赤ん坊の時から、何かを「**してもらおう**」と嬉しい。

二つ目は「**できるようになる**」幸せ。箸で食べられるようになる。自転車に乗れるようになる。鉄棒ができる。跳び箱を跳べる。今までできなかったことが「**できるようになる**」幸せがある。

三つ目は「**してあげる**」幸せ。この三番目が一番価値が大きい。親に何かをやってあげる。友達に何かしてあげる。そうすると親が喜ぶ。友達が喜ぶ。人が喜んだ姿、喜んだ顔を見たときに、自分が幸せになる。これが**もっとも大事な幸せ**と言える。



むらっしい

いつも人から何かをしてもらえばかりだったり、また、自分さえよければ良いと考えたりするのは、よくありません。誰かに「**してあげる**」ことが一番の幸せなのです。2学期以降も、南山城小学校の子どもたちには、お互いに「**してあげる**」幸せをたくさん行い、あちらでもこちらでも笑顔溢れる学校を創り上げていってほしいと願っています。

明日から長い夏休みに入ります。交通事故や水難事故、感染症と熱中症等の未然防止に十分ご注意頂き、親子のふれ合いはもちろん、家族同士、子ども同士の絆を深める機会にしていいただければと思います。

あとになりましたが、保護者の方や地域の皆様、本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜りましたこと、また、村の宝である子どもたちを、地域で見守り育てて頂きましたことに、心よりお礼申し上げます。引き続きよろしくお願い致します。

有意義な夏休みを過ごすためのポイント

夏休みという長期の休みは小学生にとって、『今しかできないこと』をやるチャンスです。そのためには自分で時間を管理し、計画的に行動することが大切です。そこで有意義な夏休みの過ごし方を提案します。

① 生活リズムを保つ

学校があるときと同じ時間に起床・就寝するなど、規則正しい生活を送る。勉強や遊びのメリハリをつけながら過ごすことが大切です。

② 前もって夏休みにやりたいことをリストアップしておく

まず、頭に浮かんだことを書き上げます。そのあとどうしたら実現できるかをじっくりと考えます。自分で考える力や計画性を養うことに繋がります。

③ 宿題や課題は計画的に進める

苦手なことや面倒なことは後回しにしたいものですが、やらなければならないものは、なるべく早めに終わらせるようにする。また、やるべきことに集中できる環境を作ることも重要です。そして、学力を着実に身につけていくためには、習ったことを何度も練習することが必要です。ぜひ、夏休みには1学期の復習をして、2学期からの学習に活かすようにする。

④ 新しいことに挑戦する

新しいことに挑戦するのに良い機会です。できる範囲内で構わないので興味があることに挑戦しよう。

